アフリカ理解プロジェクト

アフリカ布がわかる ワークショップ タンザニアバティック

レトロモダンな手づくり布

2022年6月26日

報告書

タンザニアがんばる生産者を応援！

特典付き！アフリカ布がわかる（タンザニアバティック編）

オンライン・ワークショップ　報告書

コロナ禍で収入減の現地生産者を支援

ダルエス・サラームからライブ中継

日時：　2022 年 6 月 26 日（日）17：00～18：30 日本/ 11:00～12：30 タンザニア

中継地：タンザニア・ダルエスサラーム　ティンガティンガ村/ オンライン開催（ZOOM）

参加人数：14 名

《プログラム》

- **スライド/日本**

  アフリカの布がわかる　－多様なアフリカのテキスタイル－

  アフリカ布の種類、アフリカ布の使い方、２つの民族布（特徴・使い方・日本とのつながり）アフリカの布の魅力とは？

- **スライド/タンザニア**　－タンザニアのバティックができるまで－

  タンザニア概要、タンザニアの人気のアフリカ布（カンガ、キテンゲ、バティック）、バティック製作女性グループ、バティックができるまで、現状と課題

- **動画/タンザニア**

  ダルエスサラーム市内、アフリカンファッションとヘアー、バティック製作風景（各工程）、マーケットでの販売の様子、縫製やテーラーたちの様子

- **ライブ中継でレクチャー/タンザニア**

  アフリカ布の使い方を現地の人にライブで教えてもらう

- **ライブ中継で交流/タンザニア**

  参加者からの質問を通して現地のテーラーさんと交流

- **参加者とのフリートーク（希望者のみ）**

アフリカ理解プロジェクト（ARP）あいさつ

アフリカとライブでつなぐワークショップ、今回の舞台もタンザニアです。テーマは《アフリカ布がわかる～タンザニアバティック編～》

今回は 3 月に開催されたワークショップの第 2 回目の開催です。

スタッフ織田みなこの進行で、ARP 白鳥くるみからあいさつした後、日本のスタッフを紹介しました。

タンザニアからライブ中継であいさつ

タンザニアとつないでライブ中継をし、メンバーがあいさつをし、ティンガティンガ村から村の様子をみせてもらいました。タンザニアは、南半球なので平均気温は 26 度と、一年のうちで一番日照時間が短い、涼しい時期です。お手製のバティックドレスのマリアナさん（マテレカン工房テーラー）、そしてお気入りのキテンゲドレスのダイアナさん（ティンガティンガアーティスト）、 前回ティンガティンガアートで講師を務めてくれたライモンドさんも協力してくれています。

村のアーティストたちともあいさつをし、絵を描いている様子を拝見し、マンボ―（元気？）、ポア（元気！）とあいさつをかわしました。

スライド解説

『アフリカの布がわかる－多様なアフリカのテキスタイル－』

「アフリカの布の基礎知識」としてアフリカ全体の様子を ARP の白鳥くるみが説明。

《主な内容》

アフリカ大陸には、多様な布があります。「パーニュ」はアフリカンワックスプリント・キテンゲやチテンゲとも呼ばれますが、ここでは現地で使われるパーニュという言葉を使います。この「パーニュ」や「カンガ」のように世界的に知られる民族布から古い歴史をもつ「絞り染め」や「ろうけつ染め」まで様々です。ブリティッシュ・ミュージアムには、4500 種類ものアフリカの布（テキスタイル）が所蔵されています。この多様な布を《アフリカ布の種類、アフリカ布の使い方、２つの民族布（特徴・使い方・日本とのつながり）、アフリカの布の魅力とは？》について解説。

アフリカの布には、アフリカの国々の歴史や文化、また植民地化が大きくかかわっています。アフリカの人たちにとって民族布やファッションは、装飾や実用性だけでなく、「文化、宗教、考えや主張、エンパワメント、つながり、アイデンティティ」を表すことがあります。アフリカの布やファッションは「多様であり」、装飾や実用性だけではない「メッセージを発する布」です。こんなところも魅力のひとつだと思います。

スライド解説『タンザニアのバティックができるまで』

続いて、タンザニア在住のサポーターが、「タンザニア概要、人気のアフリカ布（カンガ、キテンゲ、バティック）、バティック製作女性グループ、バティック製作から～販売まで、現状と課題」をスライドで説明。つづけて動画でアフリカンファッションとヘアー、バティック製作の各工程、マーケットでの販売、縫製とテーラーたちの様子を紹介しました。

※今回の撮影もコロナ禍で収入減になったカメラマンに撮影を依頼しました。またバティックの製作工程は撮影禁止となっていますが、今回キガンボニ女性協同組合から、特別許可をいただき撮影することができました。

バティックができるまでには、複数の工程が必要です。たくさんの工程があるバティック製作は、更に昔ながらの天日干しのため、天候に左右されること、一点一点手作業のため同じ色・デザインの再現が難しいという課題もあります。また、中国業者の台頭も迫っています。タンザニアの人たちは、色使いで、原産地を見分けられるようで、ナイジェリア産など、アフリカ産を好んで購入する傾向があります。

染料の使用は、SDG s の観点からすると、ファッション業界全体で改善すべき課題があると思います。ですが、アフリカでは、必要な洋服を必要なだけ作るオーダーメイドの文化が浸透しており、気に入ったものを大切に使うアフリカの文化にはよいところも多くあります。生産者、消費者として、作る責任、使う責任がありますが、まずは、このように商品の製作工程や背景にあるストーリーを知ることから、支援・改善につなげていきたいと思います。

タンザニアとライブ中継「アフリカ布の使い方」

このコーナーでは人気の着方、ヘッドスカーフの巻き方、赤ちゃんの負ぶい方など、「アフリカ布の使い方」をマリアナさんとダイアナさんにライブで教えてもらいました。

ライブ中継で交流

ここからは、参加者からの質問を通した交流の時間です。
参加者全員にあらかじめ送ったバティック柄の手縫いマルシェバック。これを製作したマテレカン工房のマリアナさんへ質問をしながら交流しました。

・東田さん
Q:図柄を考案する時に何かヒントにされている事、物がありますか？
例えば　自然とか身近な生活で使う物、家畜などとか？
A:※バティック製作グループへの質問だが、マリアナが事前に確認して、回答。
通常、このグループでは、スタンプを使ってデザインを作っています。一つのバティックに２つ程度のスタンプを使っています。ロウを飛ばしたり、マーブル模様など、ワックスの技術も使ってデザインします。アフリカの伝統模様や、花や木、葉などや、動物の模様などを表現することがあります。

・大竹さん
Q:キガンボ二地域での染色はいつ頃から行われていますか？　デザインは各工房ごとに特徴的なものがあるのでしょうか？伝統的なデザインにはどのようなものがありますか。
また、植物など天然染料を利用して染色することはありますか。
A:バティックは、オランダが植民地時代にインドネシアからアフリカに持ち込んだものです。
キガンボ二では、３０年ほど前から女性たちが製作を始めたようです。
それぞれのグループは、デザインや染めの手法は、各工房ごとに工夫をこらしています。
キテンゲのように同じデザインを繰り返したものと、ドレス用に全体で一つの大きなデザインにしているものがあり、ドレス用のほうがよりデザインに工房ごとのオリジナリティが出ます。
伝統的なデザインには、自然をテーマとしたもので、木や葉、花、フルーツなど植物の図柄があります。
バティックで天然染料は使っているところは見かけませんが、タイダイなどの絞り染めや織物などで天然染料を使うところもあるようです。

・櫻井さん
Q:現在タンザニアの若者（女性・男性）の間ではどんなアフリカ布のファッションが流行しているのでしょうか。
A:・タンザニアではアラブ系、インド系、中華系、アフリカ系、ヨーロッパ系など、色々な国籍の人が多様性のなかで住んでいる。宗教や民族によっても好みは色々。
ムスリムは必ずスカーフをかぶるが、ムスリム以外は、アフリカンヘアーを見せたいので、
ヘッドスカーフはしないタンザニア人が多い。
オーダーメイドが一般的で、赤と黒の組み合わせや、黄色と黒の組み合わせ、国旗の色である青、緑、黒の組み合わせも人気です。一番重要な色は黒です。
また、最近の若者の日常ファッションでは、あまり鮮やか過ぎない明度を下げた、クールカラーも人気です。青、緑、グレー、赤などどの色でもよいですが、黒をまぜてトーンダウンしたスタイリッシュなモダンカラーも流行っています。

また、参加者からは、色々なコメントをいただきました。

・小山さん　バティック染めは思ったよりも複雑な工程で、背景を知ると愛おしく感じます。着物をやっていたことがあり、着物にもろうけつ染めがありますが、実際の製作工程を見たことがなかったので、動画もみれてよかったです。

・保科さん　いただいたバティックは日常使いに愛用しています！自分のもらったバティックは動画のものよりもっと複雑な工程で作られていそう。作り方をもっと知りたいです。カンガなど、男性はシャツに仕立てたりするようだけれど、男性の巻き方や使い方などに興味があります。

⇒（ARP）今日のニュースでも取り上げられていましたが、アフリカンファッションが流行っています。ぜひ、アンケートに男性の視点から商品へのご意見や感想などをご記入ください。

・斉藤さん　動画で製作工程や生産者の顔も観れてよかったです。色落ちするのか気になります。

⇒（ARP）一回目は色落ちするので他の洋服などとは一緒に洗わないほうがよいですが、バティック自体はじゃぶじゃぶ洗っても、色が変わらず、丈夫です。

タンザニアのみなさんと参加者のみなさんで楽しい交流の時間になりました！

SDGｓの 12 番目は「責任をもって使う」です。「だれが、どう作ったのか」「だれが、どう売っているか」そうした背景を知ることは、私たちがものへの愛着を深め、長く使い続けていくことにつながるのではないかと思っています。本日の講座が、みなさまの「理解の一助」になっていれば幸いです。

このあと希望者のみ 15 分間のフリートーク時間を設けました。講座のなかで質問できなかったことや布の説明など、参加者とスタッフで和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。

参加者特典

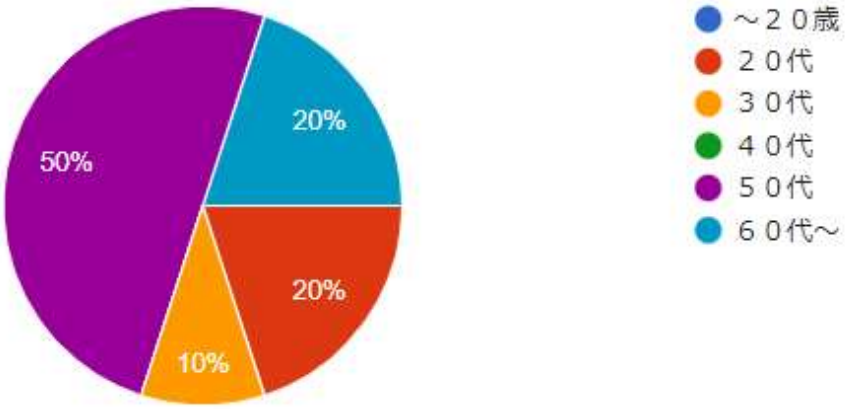
参加者特典１として、参加者全員に、タンザニアの生産者が手づくりした「バティック布のマルシェバック」を送付しました。また、特典２では、「タンザニア・アフリカで生産された布」が購入できる頒布リストをお送りしました。

みなさん、ご参加ありがとうございました！

参加者アンケート回答

あなたの年代をお答えください。

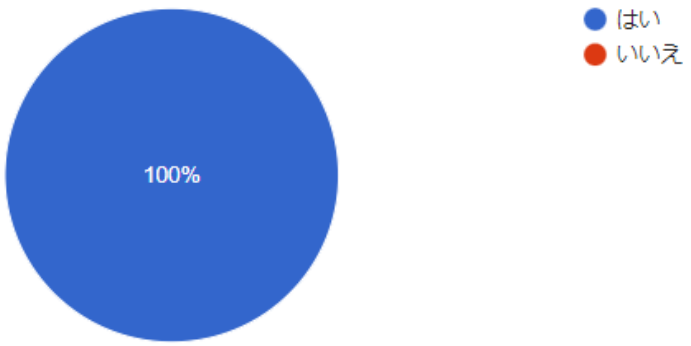
10 件の回答



本日のオンラインワークショップの感想をお聞かせください。

お話は分かりやすかったですか？

10 件の回答



上記解答(分かりやすかったかどうかに関して)の理由をお聞かせください。

8 件の回答

パワーポイントを使った事前の背景説明や工房の映像の説明が丁寧だったから。

丁寧なご説明でした

大変準備がされていて、テンポ良く進んでいました。事前に質問に対する回答が準備されていて、的確な回答でした。同時通訳も解りやすかったです。

写真や動画などでの解説や、日本語訳で説明して下さって分かりやすかったです

動画とパワポが効果的に使われていて、カンガ、キテンゲの違いや アフリカンバティック がどういう過程で作られているのかがよくわかった。

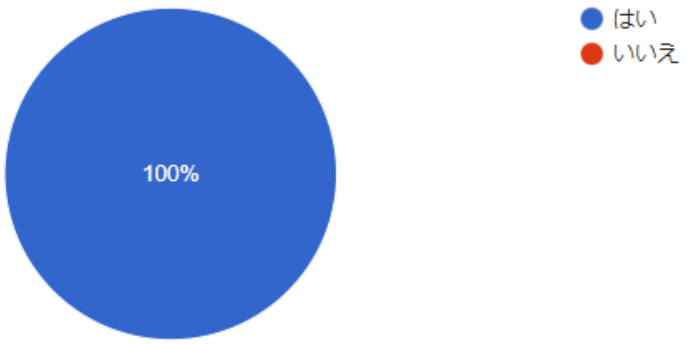
完全に無知で参加したのですが、超基本の内容からお話しいただいたので、とても理解が深まりました。動画も見せていただいたので、とても分かりやすかったです。

布地を現地の方々がどのように使っているのかなどで実演をまじえて説明されたので。

現地の様子が実際に見られたからだと思います。

当日のワークショップ、原画送付など、企画を楽しめましたか？

10 件の回答



上記解答(楽しめたかどうかに関して)の理由をお聞かせください。

10 件の回答

マルシェバックの実物を手にしながらろうけつ染めの方法について知ることができたから。

エコバッグが嬉しい

バティックの染色工程が見ることが出来て良かったです。
マリアナさん、ダイアナさんの笑顔、素敵でした！

色も柄も素敵なエコバッグでした。1枚ずつ作られている動画を見て、より大切にしようと思いました。

主催者と参加者とのインタラクティブな会になっていて、大変刺激になりました。発言する機会も戴けて、嬉しかったです。

企画盛り沢山だったと思います！バティックの制作工程もですが最後の布のマーケットが素敵過ぎて見入ってしまいました。ティンガティンガ村ももっと見たかったです

音楽を含めてアフリカンっぽさを感じる雰囲気

現地の雰囲気を感じながらお話を伺えたので、少し海外旅行をした気分になれました。

バティック制作の工程を動画で見る前に、アフリカ理解プロジェクトの方々からアフリカンプリントについてのお話があり、市場の様子も見せていただき、企画全体を通してとても楽しく参加することができました。ありがとうございます。

アフリカ布、大好きです。

そのほか、ご意見、感想がありましたらお願いします。

7 件の回答

送っていただいたエコバック、キテンゲ布でハンドメイドしたパンツにあわせて使わせてもらいます。お気に入りの一枚になりました。ありがとうございました。
７月の対面イベント、楽しみにしています。

アフリカの布は、色やデザインが素敵です。洋服だけでなく、髪型も、アフリカの人はオシャレだと感じました。
自分では洋裁ができないので、ブラウスや小物なども、色々な種類の物を作っていただけたら嬉しいです。

本当に面白かったです。7月31日のイベントにも参加しようと思っています。お会いできることを楽しみにしています。

マリアナさんの着てたワンピース素敵でした。布購入→オーダーメイドドレスの作成まであるといいなぁと思いました

これからも、アフリカから元気の出る発信をお願いします！

本日はありがとうございました。
皆さんアフリカに詳しい方が多い方が多い印象だったので、初心者には少しレベルが高いかなと思いましたが、楽しく参加できました。
すごく素敵なデザインのものが多いですし、一点ものというところもかなり魅力的ですし、流行りそうな気がしました！（私の好みがアフリカ寄りなだけかもしれませんが笑）

布は、購入したいと思いました。私の先祖は京都で繊維関係の仕事をしてきており、子供の頃から染色は興味のある分野です。

今後のセミナー・講座、ワークショップで取り上げて欲しいいテーマがあれば教えてください。

7 件の回答

スワヒリ語

アフリカの植物やお花にも興味があります。

男性向けのアフリカの布の使い方、ファッション、製品の紹介

アフリカ料理教室、ティンガティンガについて等興味あります

音楽やダンス、スワヒリ語などのアフリカの言語で簡単な歌を学びたい

アフリカでの町おこし的なこと

食べ物。

Grar
africa nkai project